

氷見市長 本川 祐治郎 様

平成 2 5 年度 要望書

平成 2 5 年 5 月 1 日

地縁法人 沖布自治会

平成25年度にむけての沖布地区要望

日頃は、当地区の振興に多大なご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当地区では、新市民病院が開設され、更に市役所が旧の有磯高校に移転することとなり、地区住民にとって大変に便利になる反面、車両等の往来が一段と増大するものと思われます。

周辺地区の交通安全施設の整備等、急激な都市化に対応した地域の環境整備が是非とも必要であり、下記の事項について要望いたします。

記

1. 氷見インターアクセス道路（国道415号線）大野新交差点における信号機の設置について（図1）

氷見インターを降りて直ぐの交差点でもあり自動車のスピードも速く、小さな事故が頻発いたしております。このアクセス道路が平成19年に供用開始以来、市当局はじめ各方面に信号機の設置を要望いたしてきているところであります。

地区住民にとってこの道路を横断するのは容易ではありません。

当地区に立地いたしております(株)タカギセーコー、(株)アムテック、こもればの里、アソカ幼稚園、ふるさと病院アルカディア等の職員の通勤時には、この交差点は非常に混雑しています。また自転車通学の中学生も横断しており、早急に信号機と横断歩道の設置をお願いいたします。

2. 防火用水の設置について（図2）

防火用水については、昭和20年代に1箇所設置されています。当時から昭和50年代頃までは、当地区の世帯数は50世帯程度でありましたが、現在は150世帯あまりとなっています。

防火対象地区面積の増大と世帯数の増大に伴い、初期消火のための防火用水の設置をお願いいたします。

3. 県営農道（沖布5号線）の改良について（図3）

この道路は、現在も非常に多くの車両が利用している道路であります。

市民病院が開設され、市役所が移転されれば、一層交通量が増大されることからこの道路の拡幅をお願いいたします。

4. 市道沖布11号線の改良について（図4）

市道沖布11号線については、既に舗装されていますが道幅が2.5メートルと自動車幅一杯の幅員であります。しかも舗装された路肩が崩れていることから、両肩に側溝を設けた道路改良をお願いいたします。関係する土地の片幅30センチまでの寄付について、地権者の同意をいただいております。

5. 市道の認定について（図5）

こもればの里、ふるさと病院、アソカ幼稚園の周辺道路の市道認定をお願いいたします。

6. 市道13号線の住宅地道路改良について（図6）

市道13号線川田側沿いの道路で、道路に面して3軒の住宅が建っている。その道路の川側が崩れてきており、大雨で洪水になれば道路そのものが流失してしまう恐れがある。

早期な対応をお願いいたします。

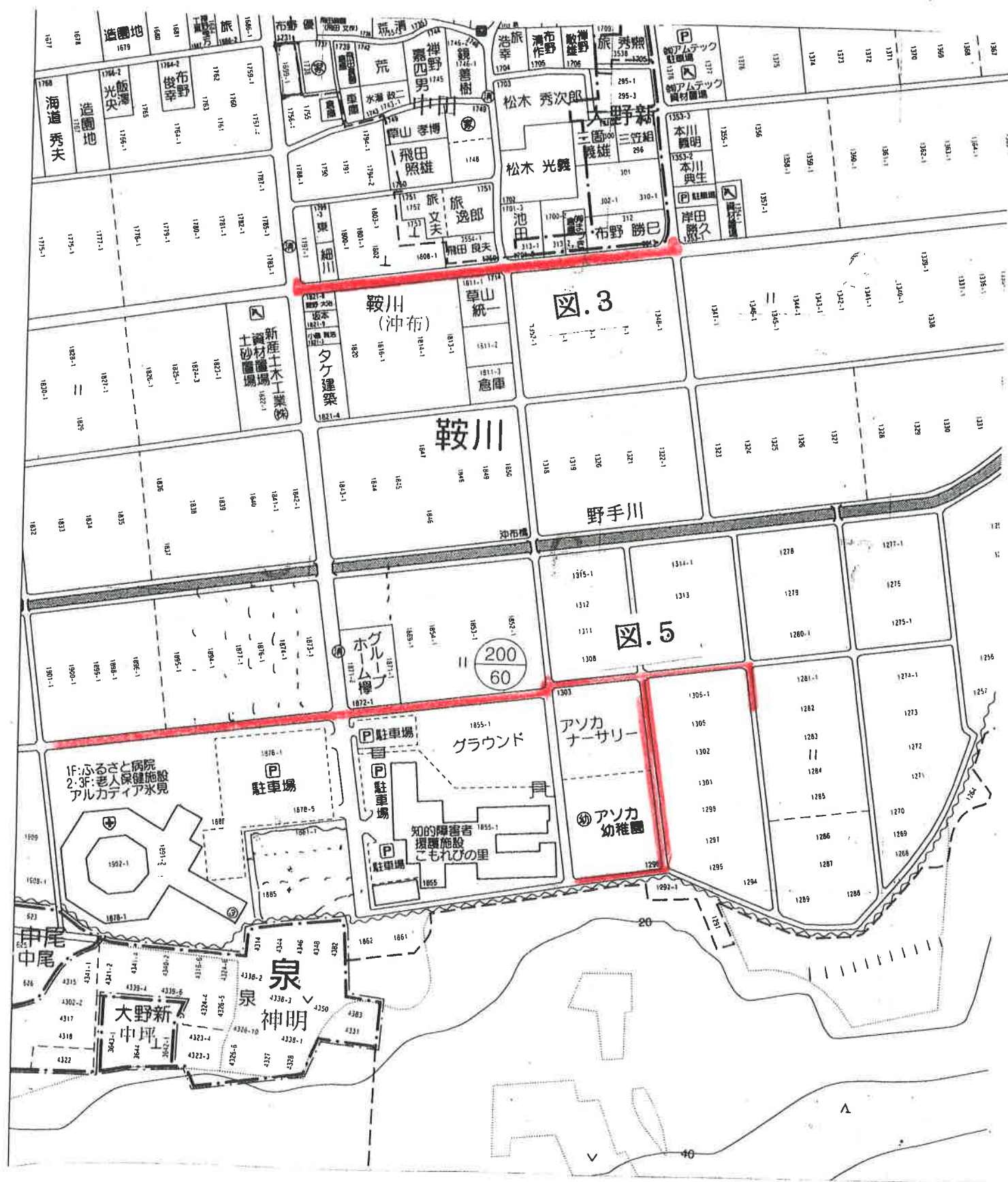
以上

平成25年 5月 1日

地縁法人 沖布自治会
会 長 横 森 正 勝







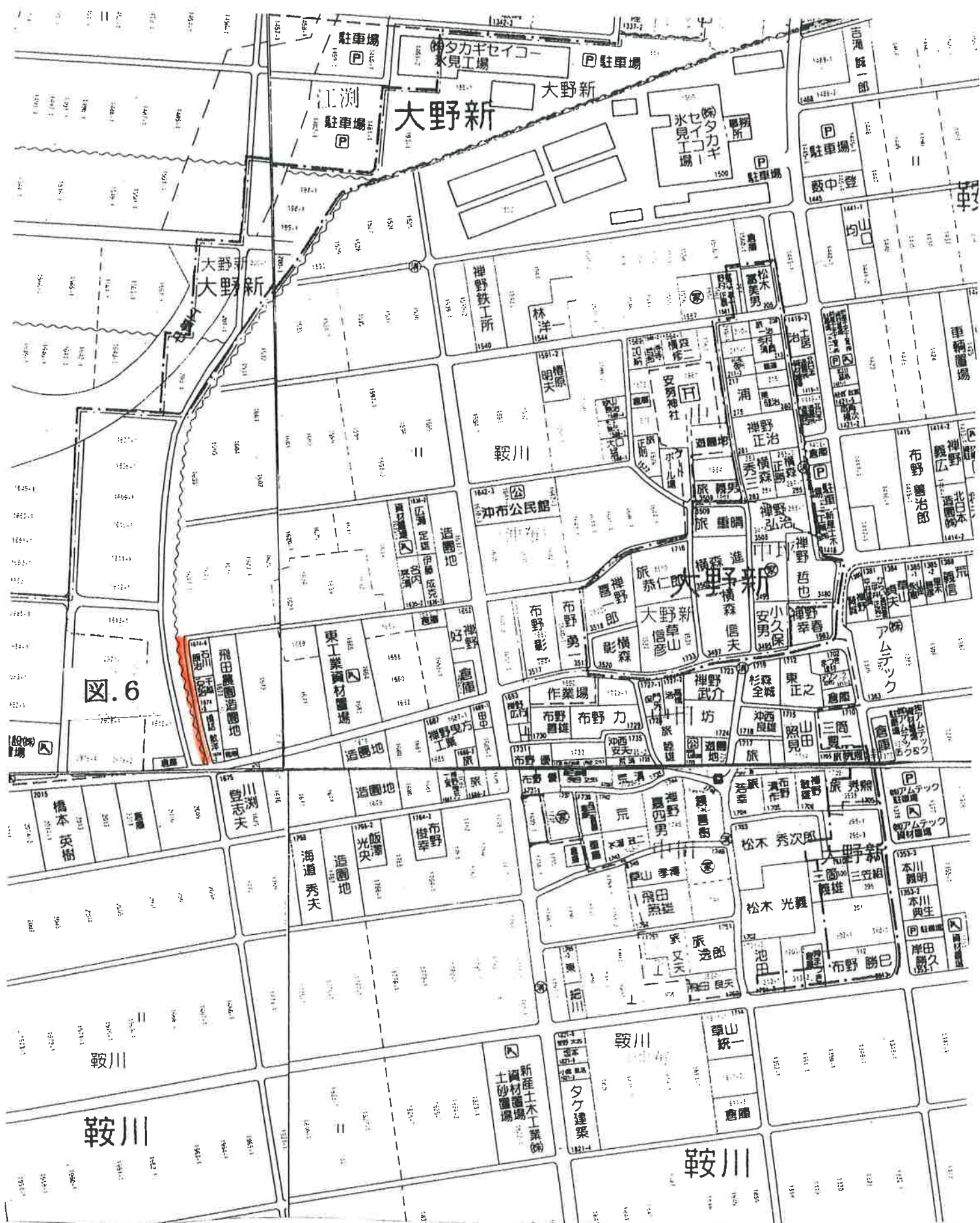


図.6